

令和4年4月1日

公益社団法人日本助産師会 御中

公益財団法人母子衛生研究会
理事長 江井 俊秀

母子保健功労顕彰会
会長 安永 竜夫

母子保健奨励賞審査委員会
審査委員長 松谷有希雄

(公 印 省 略)

貴法人の本邦新型コロナウイルス感染症対策の推進と関係の皆様方のご苦勞とご尽力に深く敬意を表しますとともに衷心より感謝を申し上げます。

また、平素より母子保健奨励賞に格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴法人におかれましては諸事ご多端のこととは存じますが、母子保健の發展向上及び母子保健関係者皆様方の使命感の維持醸成のため、本年度も母子保健奨励賞受賞候補者のご推薦を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

母子研発第2号
令和4年4月1日

公益社団法人日本助産師会会長
島田 真理恵 様

公益財団法人母子衛生研究会
理事長 江井 俊秀



「母子保健奨励賞」受賞候補者推薦のご協力依頼

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、母子保健功労顕彰事業につきまして、特段のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度母子保健奨励賞につきまして、令和4年4月1日付け文書にて、都道府県、政令指定都市、中核市、保健所政令市、東京都23特別区宛てに、受賞候補者の募集の案内を発出したところであります。

つきましては、新型コロナウイルス感染症対策の推進で何かとご多端のこととは存じますが、母子保健の発展向上及び母子保健関係者皆様方の使命感の維持醸成のため、貴会におかれましても、会員で応募資格を有する優秀な方を、受賞候補者として上記の自治体に、是非ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬白

添付書類 母子保健奨励賞記録誌（令和3年度）
令和4年度「募集要項」
募集ポスター、募集ポスターA 4縮刷版

※ 募集要項はホームページからダウンロードすることもできます。

<https://www.mcfh.or.jp/shoureishou/>

お問合せ先・連絡先

〒101-8983 東京都千代田区外神田 2-18-7

公益財団法人母子衛生研究会

顕彰事業部 ふじい おおくぼ
藤井・大久保

TEL. 03-4334-1190 FAX. 03-4334-1199

母子保健奨励賞

2022年 令和4年 6月20日[月] 当日消印有効 応募締切
第44回
2022年 令和4年 11月22日[火] 式典予定日

わが国の母子保健向上のために励んでいる 現役の方を表彰いたします

母子保健奨励賞は、国際児童年(1979年)の取組みの一環として創設され、本年度で第44回を迎えます。地域において母子保健の発展向上に尽くすとともにその業績が顕著であり、将来も引続き優れた活動が期待される現役の方に贈呈される賞です。

【これまでの受賞者】

保健師、助産師、看護師、栄養士、歯科衛生士、保育士、臨床心理士、言語聴覚士、視能訓練士、理学療法士、母子保健推進員、児童委員、ケースワーカー、民間ボランティア、愛育班員、医師、歯科医師など母子保健に携わる方



※1
【表彰対象】 地域に密着した母子保健事業※2に通算5年以上従事し、著しい功績をあげているとともに、今後も引続き大いに活躍が期待できる55歳未満※3の方、15名以内(内、医師2名以内、歯科医師1名以内とします。)

【表彰】 母子保健奨励賞、主催団体表彰、協賛団体表彰・奨励金、毎日新聞社賞、NHK賞

【主催】 公益財団法人母子衛生研究会・母子保健功労顕彰会

【後援】 厚生労働省、全国衛生部長会、毎日新聞社、NHK

【協賛】 JCRファーマ株式会社

【応募】 募集要項に基づき、必要書類を推薦自治体(都道府県、政令指定都市、中核市、保健所政令市、東京都特別区)の長を通じて、下記宛郵送してください。

公益財団法人母子衛生研究会 顕彰事業部

〒101-8983 東京都千代田区外神田2-18-7 電話 03-4334-1190 FAX 03-4334-1199

※募集要項、応募書類の詳細については母子衛生研究会ホームページ(<https://www.mcfh.or.jp/>)に掲載しています。

※1 保健医療機関の長(保健所長、国立病院院長またはそれに準ずる者)、現職の大学教授は除く。

※2 研究を中心とした活動を除く。 ※3 令和4年(2022年)11月20日現在の年齢



公益財団法人母子衛生研究会・母子保健功労顕彰会
<https://www.mcfh.or.jp/>



母子保健奨励賞

募集要項

令和4年度（第44回）母子保健功労顕彰会

主催 公益財団法人母子衛生研究会
後援 厚生労働省
全国衛生部長会
毎日新聞社
NHK
協賛 JCRファーマ株式会社

令和4年度（第44回）母子保健奨励賞 募集要項

母子保健奨励賞は、昭和54年国際児童年を契機として創設されました。本賞は、全国の各地で母子保健の発展向上に寄与し、その業績が顕著であり、将来も引き続き優れた活動が期待できる個人に対して贈呈されるものです。

- 主催 公益財団法人母子衛生研究会
- 後援 (予定) 厚生労働省
全国衛生部長会
毎日新聞社
NHK
- 協賛 JCRファーマ株式会社
- 表彰対象 令和4年11月20日現在満55歳未満の者で、推薦自治体（都道府県、政令指定都市、中核市、保健所政令市、東京都特別区）の長から推薦のあった個人で、母子保健活動に通算5年以上従事し（他業務の兼務可）、地域に密着した活動（研究を中心とする活動を除く。）であって、著しい功績をあげているとともに、他の模範となり今後も引き続き大いに活躍が期待できる者を対象とします。

(職種例) 保健師、助産師、看護師、栄養士、歯科衛生士、保育士、臨床心理士、公認心理師、言語聴覚士、理学療法士、母子保健推進員、児童委員、民間ボランティア、医師、歯科医師などその他母子保健に携わる者
- 審査 審査委員会が行い、決定次第、受賞者及び推薦自治体に通知します。通知は令和4年10月初旬の予定です。
- 表彰及び対象者数
母子保健奨励賞 15名以内
※内、医師2名以内、歯科医師1名以内とします。
毎日新聞社賞 受賞者の中から3名
NHK賞 受賞者の中から3名
- 表彰式場 東京都内
- 表彰式典 令和4年11月22日(火)又は11月29日(火)を予定

応募要領

- 1 応募先 推薦自治体を通して、郵送にてご応募ください。
公益財団法人母子衛生研究会 顕彰事業部
〒101-8983 東京都千代田区外神田2-18-7
- 2 応募用紙 応募用紙は規定の用紙（令和4年度版の母子保健奨励賞受賞候補者調書・様式1～4、計4枚、片面印刷）を使用し、記入要領を参照して作成してください。応募用紙（調書）及び記入要領はホームページよりダウンロードできます。
- 3 応募書類 (1) 母子保健奨励賞受賞候補者調書 1通
(2) 受賞候補者本人による作文「私の母子保健活動の今とこれから」800字以内（横書き、ワープロ可） 1通
(3) 写真(縦4.5cm×横3.5cm、裏面に推薦自治体名と候補者氏名を明記) 胸上姿とし6か月以内撮影のカラー写真 1枚
受賞の際には、当法人の発行物等に掲載いたします。
- 4 応募締切日 令和4年6月20日(月)当日消印有効

応募資格

- 1 令和4年11月20日現在満55歳未満の方を対象とします。
- 2 母子保健活動に通算5年以上の経験を有し、今後も引き続き母子保健の分野で大いに活躍が期待できる方を対象とします（他業務の兼務可）。
- 3 保健医療機関の長（保健所長、国公立病院長又はこれらに準ずる職種の者）及び現職の大学教授の方は募集の対象としません。
(注) 推薦自治体の本庁の現職員（出先機関の現職員含む）及び大学准教授の方は、応募の対象です。
- 4 過去に母子保健奨励賞を受賞した方は募集の対象としません。

応募にあたっての留意事項

- 1 推薦自治体（都道府県、政令指定都市、中核市、保健所政令市、東京都特別区）の長の推薦を必要とし、自薦ではなく他薦とします。
- 2 候補者複数の場合は事前にご選考の上1名のみを推薦してください。
- 3 推薦者は候補者の承諾を得て推薦してください。受賞された方には受賞にあたっての所感の提出をお願いしています。また、報道機関から取材があるほか、表彰式典等で撮影した写真を当法人のホームページやポスター、その他印刷物に掲載することがあります。
- 4 同一候補者による応募は、原則3回までとし、4回目以降の応募については、その後新たに著しい業績が加わった者に限ります。
- 5 応募書類等は返還いたしません。
- 6 受賞決定後、受賞者名、職種、推薦自治体名及び受賞理由を公表します。
- 7 この要項はホームページにも掲載しています。

【お問合せ先】

顕彰事業部 藤井・大久保

TEL.03-4334-1190 FAX.03-4334-1199

母子保健奨励賞ホームページ <https://www.mcfh.or.jp/shoureishou/>

